



みんなで盛り上げよう！

東京オリンピック・パラリンピック

平成27年度SC全国ネットワーク総会 グループ協議 概要報告

地域がつながる オリンピック・ムーブメント、 クラブがつくるユニークなアクション

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まであと4年となり、全国の総合型クラブが地域においてオリンピック・ムーブメントに取り組むきっかけとなる情報やアイデアを共有する機会とすることを目的に、SC全国ネットワークの代表委員がグループ協議を実施しました。

今回は、オリンピック・ムーブメントの概要やグループ協議で出たアイデアをご紹介します。ぜひ、みなさまのクラブの活動にも取り入れていただき、全国で東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げていきましょう！



オリンピック・ムーブメントとは

オリンピック・ムーブメントとは、国際オリンピック委員会（IOC）の統括のもと、オリンピックの精神（オリンピズム）に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現をめざす活動です。この活動は世界中で行われており、オリンピックの五輪のマークがそのシンボルとされています。

■ オリンピック・ムーブメントの活動

オリンピック・ムーブメントは選手やオリンピック関係者だけのものではなく、代表的な活動としてドーピングの撲滅・女性の参画・経済支援などがあげられます。また、身体障害者を対象とした世界最高峰のスポーツ競技大会「パラリンピック」も、大きなオリンピック・ムーブメントのひとつです。

オリンピックの開催は人々に大きな夢を与える最大の祭典であり、同時に、オリンピックの基本精神と理想を多くの人々に広く理解してもらう最高のオリンピック・ムーブメントでもあります。

IOCは、「スポーツ・文化・環境」をオリンピック・ムーブメントの三本柱としています。

スポーツ

〈JOCの活動〉

- オリンピックデーラン
- オリンピックデーフェスタ
- オリンピック研修会
- オリンピック親子チャレンジ
- 広報誌「オリンピアン」発行 など

〈その他〉

- パラリンピック種目の体験会 など

〈総合型クラブでの取り組み例〉

- 地域住民でオリンピアン記録に挑戦（広島）
- クラブ交流大会で東京2020ブースを設置（熊本）



文化

〈JOCの活動〉

- 絵画／作文コンテスト
- オリンピックコンサート
- ラジオ番組 など

〈その他〉

- 観光PR
- 伝統芸能や文化の紹介、映画、文学・音楽
- 一校一国運動
- ボランティア教育 など



※2012年ロンドン大会では約18万件の文化プログラムが4年間で実施されました

環境

〈JOCの活動〉

- スポーツイベントの際に行う環境問題に関するPR
- 環境活動に対するPRポスター作成
- JOCスポーツと環境・地域セミナー

〈その他〉

- グリーンビルディング（活動団体を表彰）
- 首都美化デー（1964年） など



出典：（公財）日本オリンピック委員会（2014）「JOCの進めるオリンピックムーブメント」

総合型クラブとオリンピック・ムーブメント

地域のスポーツ団体（スポーツ少年団・体育協会加盟団体・スポーツ推進委員等）や障がい者の方々、文化活動団体等、様々な団体と連携するきっかけとして、総合型クラブから提案する絶好のチャンスです！

より多くの住民がスポーツやクラブの活動に興味を持つことで、クラブ運営にもプラス効果が期待できるかもしれません！

以下の内容は、グループ協議で出された具体的な取組案です。各クラブにおいても、実施を計画されてみてはいかがでしょうか？

総合型クラブで取り組むことができそうなアクション アイディア集

スポーツ

- マラソンリレー
- オリンピック体操をクラブで作成
- クラブフェスティバルへオリンピックやパラリンピアンを招待
- ブラジル・リオデジャネイロから東京までの距離を分割して、様々な種目の実施・交流
- オリンピック・パラリンピック種目体験会の実施
- オリンピック・パラリンピック模擬大会の開催
- ご当地版ラジオ体操の実施



文化

- ボランティアの育成
- 国を決めて応援
(手作り応援ボードの作成／姉妹都市ツアー1クラブ1国応援キャンペーン等)
- 参加国の言語・文化・歴史の情報収集
- 新作五輪音頭の作成
- 地域特選品を活用した食事提供(地域のPR)
- どこでもパブリックビューイング
(学校／公民館／市役所、町・村役場／クラブハウス等)



環境

- スポーツゴミ拾い
(体育の日やオリンピックデーに実施し、オリンピックを身近に感じるとともに環境問題への意識を持つことにつなげる)



6月23日はオリンピックデーです！

皆様のクラブでも記念イベントを実施してみませんか？

＜オリンピックデーとは＞

1894年6月23日のIOC創設を記念して、1948年に定められました。

アクション&レガシープランについて

SC全国ネットワーク総会では、東京2020大会組織委員会から「アクション&レガシープラン（中間報告）」についての情報提供とともに、全国の総合型クラブに期待することについて、お話をいただきました。

東京2020大会組織委員会では、多様なステークホルダーが連携して、東京2020大会の先にレガシーを創出するためのアクションを推進していくために「アクション&レガシープラン2016」を策定する予定です。

2016年1月に公表された「アクション&レガシープラン2016中間報告」については、東京2020大会組織委員会のホームページで公表されています。

URL：<https://tokyo2020.jp/jp/games/legacy/>

アクション&レガシープランは「全国各地域の様々な主体の『参画』によるアクションの具現化と継続性（大会後も継続する取組）があってこそ、実現するもの」であり、全国の総合型クラブやSC全国ネットワークの取組に期待されていることは、以下のとおりです。

■ 全国の総合型クラブ／SC全国ネットワークへの期待 ～アクション&レガシープランの実現に向けて～

東京2020大会をひとつのきっかけ、変革のチャンスとして、

- 全国の総合型クラブが地域の核となり、スポーツの力で課題解決を促進する
 - SC全国ネットワークが核となり、東京2020大会を視野に全国のそれぞれの協議会やクラブで共通プログラムに取り組むなど、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進しながら、地域のスポーツを振興する
- ⇒ 全国のクラブや各地域の協議会が新たな主体と連携したり、これまでとは異なるアプローチを採用するなど、「2020を契機とした革新」を進めることにより、取組のインパクトが拡大したり、地域におけるクラブの存在感が一層向上していくのではないかと

今回ご紹介した「グループ協議」でのアイデアに加え、上記の「中間報告」（特に、スポーツ・健康分野の）「残すべきレガシー」や「アクション例」なども参考にしながら、皆様のクラブではどんな取組ができるかを、ぜひ検討し、実行してみてください!!

